



銀次先輩に続け!!

議会だより

ふたひ

FMMA 4th

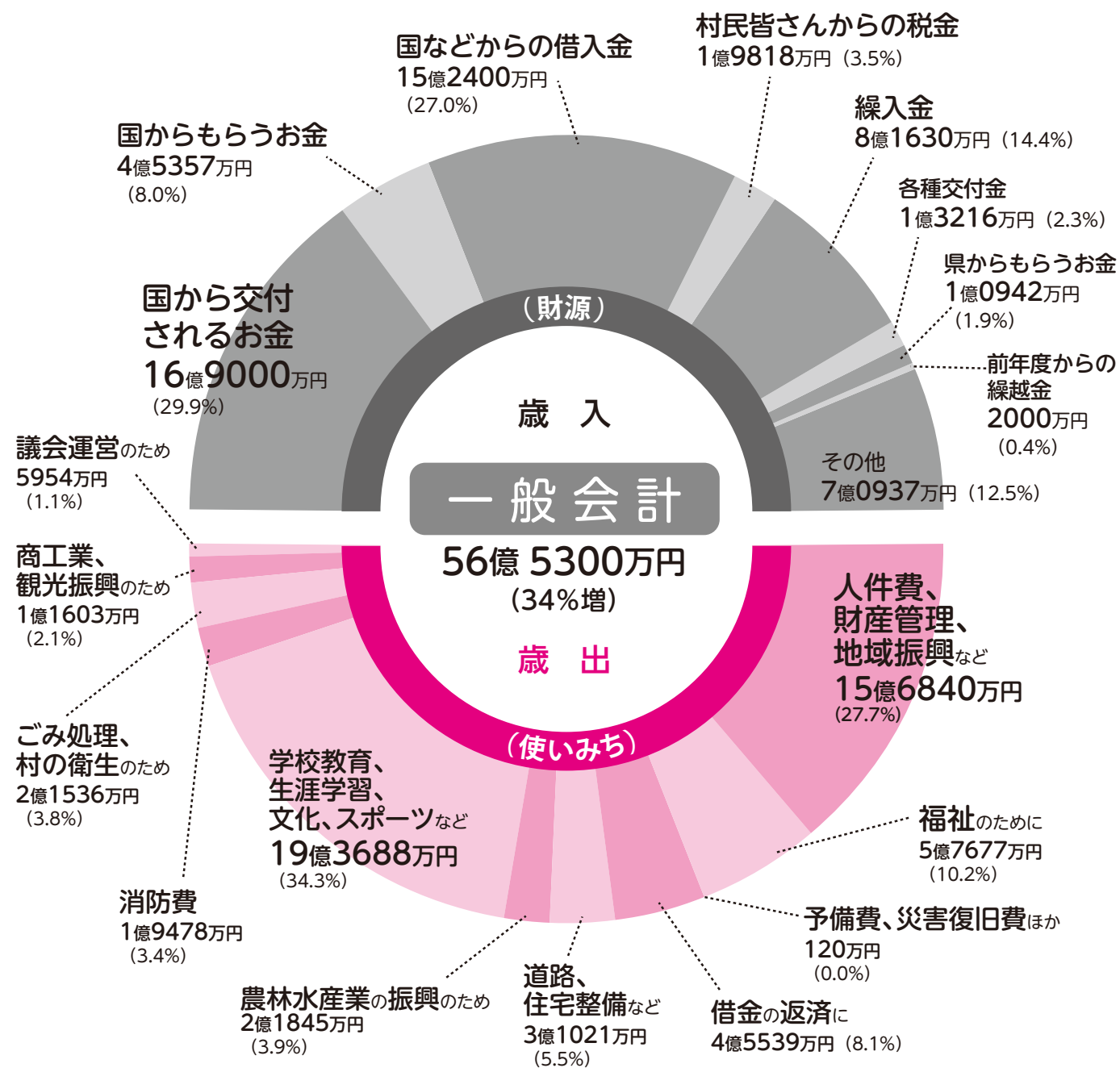
岩手県普代村議会

No. 171

令和7年5月1日発行

令和7年度予算可決	2～3 p
予算審議議論白熱	4～5 p
一般質問（4議員が村政を問う）	8～11 p
未来予想図・あとがき	16 p

一般会計予算は56億円



特別会計及び公営企業会計の予算 9億7620万円 (前年度比 2.8%減)

公営企業会計

国民健康保険	国民健康保険診療施設	休養施設事業	後期高齢者医療事業	魚市場事業	簡易水道事業	下水道事業
4億2380万円 前年度比 1.4%増	2億0700万円 前年度比 5.3%増	1億1760万円 前年度比 8.3%減	3840万円 前年度比 4.1%増	520万円 前年度比 100%増	1億3348万円 前年度比 1.0%増	5072万円 前年度比 45.0%減

※簡易水道・下水道事業は令和6年度から公営企業会計へ移行されました。※魚市場事業は令和7年度からの新しい特別会計です。

一般会計予算の主な事業！

普代村立普代学園建設工事費 (教育委員会担当)

16億5,880万円

白井地区に義務教育学校の校舎を建設いたします。



学校建設予定地

自然休養村管理センター空調設備 設置工事 (農林商工課担当)

2,716万円

自然休養村管理センターの集会室に冷暖房設備を設置します。



集会室

(仮称) 村道普代駅前8号線道路改良 舗装工事 (建設水産課担当)

2,000万円

羅賀地区住宅前の道路の改良舗装工事を行います。



村道駅前8号線

消防車両購入事業 (総務課担当)

1,723万円

老朽化した第6分団の消防車両を更新いたします。



消防車両

そのほかの事業(新規・継続、事業規模問わず)

・公共施設 PCB 調査委託料 (ポリ塩化ビフェニルの略、昔の蛍光灯等に使われた有害物質)	122 万円
・普代村空き家バンク登録促進事業補助金	360 万円
・介護人材確保養成事業	218 万円
・新型コロナウイルス予防接種委託料	1,072 万円
・高齢者活動施設空調改修工事	1,480 万円
・強い水産業づくり交付金	948 万円
・青の国観光ガイドブック等作成業務委託料	187 万円
・村道茂市北ノ股線道路改良工事設計業務委託料	1,000 万円
・心の支え「普代の方言」保存・伝承事業報償費	171 万円
・「夢の教室」開催事業委託料 (プロアスリートが夢の大切さを子ども達へ伝える教室)	69 万円

令和7年度の予算総額は66億円！

令和7年度
予算
審議

議論 予算特別 委員会 白熱

予算特別委員会（森田幸一委員長）は議長を除く9人の委員で構成され、村から提出された令和7年度予算を審査しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

一般会計

総務費

△普代村地域づくりアドバイザー活用事業
181万円

質問 アドバイザーは何名でどのような活動をしているか。
回答 現在は6名。特産品のPRや公共施設の改修アドバイザー等、それぞれの専門分野で活動いただいている。

△防災行政無線整備基本計画策定業務委託料
715万円

質問 何年計画で、令和7年度はどのような内容になるか。
回答 令和7年度は基本計画の策定をする。工事は令和9年度以降に着工予定。

工期は2年ほどかかる見込み。

△普代村空き家バンク登録促進事業補助金
360万円

質問 空き家バンク登録件数の目標は何件か。村内業者で改修すると補助金の加算があるが、本村が普代以外でも大丈夫なのか。
回答 住宅改修2件、環境整備2件の目標となっている。村内業者の要件は、村に支店や営業所がある場合でも可能である。

△地域おこし協力隊中間支援業務委託料
750万円



質問 令和6年度までであった移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業は、令和7年度はこの中間支援業務にて継続するものか。
回答 同様の内容である。名称が変更となったもの。

△村所有倉庫等不用品処分委託料
200万円

質問 令和7年度はどの施設を対象としているか。
回答 まついそを予定している。

衛生費

質問 令和6年度までであった炭素社会の実現に向けた検討事業が令和7年度は計上されていないが、補正予算などで対応するのか。
回答 令和6年度までであった炭素社会の実現に向けた検討事業が令和7年度は計上されていないが、補正予算などで対応する。

△普代村有害鳥獣駆除報奨金
110万円



△未来農業実証事業補助金
100万円

農林水産業費

回答 炭素関係は令和7年度から事業化され、各施設のLED化をそれぞれの予算科目で計上している。

質問 予算の根拠は。
回答 ニホンジカ210頭×5千円、イノシシ10頭×5千円。



△水産業活性化事業補助金
900万円

質問 今までの成果や効果はどうか。
回答 アワビの出荷は令和元年度3・6t、令和2年度1・4t、令和3年度1・1t、令和4年度1・3t、令和5年度2・7tとなっている。また、ナマコは市場への水揚げが毎年100kg前後である。

土木費

△エアコン設置支援補助事業
165万円

質問 制度を利用する際に現在エアコンが無い世帯が優先されるなどの条件はあるのか。また、インターネットなどで購入した場合はどうか。
回答 現在エアコンがあるかどうかで優先するなどはない。インターネットで購入しても対象となる。



教育費

△心の支え「普代の方言」保存・伝承事業報償費
171万円

質問 内容について説明を。
回答 地域の高齢者の方などに協力いただき、普段の

会話や昔話などテーマを決めて音声・映像で保存していく。

△普代村教育振興基本計画策定業務委託料
450万円

質問 計画の内容及び策定委員会についての説明を。
回答 教育基本法に基づいた計画である。今後の義務教育学校完成後も見据えたような計画を策定する。策定委員は学校関係者、社会教育団体、保護者、学識経験者等を想定している。

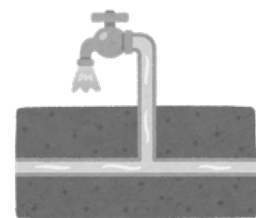
△育英奨学資金貸付金
96万円

質問 貸付額はいくらで何人いるのか。
回答 総額で1044万円貸付をしている。人数は10名。内2名は完済し、残額は約650万円となる。

歳入

△村税滞納繰越分
合計295万円

質問 内容の詳しい説明を。
回答 5年度以前分、6年



度分合わせて約830万円。それに収納率をかけた収納見込み予算を作成している。件数は村民税が93件、固定資産税は243件ある。

簡易水道事業会計

△修繕料
198万円

質問 全国的な問題となっているが、村には老朽管はどれくらいあり、その修繕の計画はあるのか。
回答 現在、水道管の耐震化を進めており、耐震化率は12・5%（7319m）となっている。耐震化となっていない水道管も、時間がかかるが順次更新していく。

銀次アンバサダーから 記念品を贈呈！

本村出身で、普代小学校の卒業生でもある東北楽天ゴールデンイーグルスの銀次アンバサダーが来村し、普代小学校の新入生に記念品として帽子を贈呈しました。

銀次アンバサダーから帽子を手渡された新入生はとても感激した様子で、これからの学校生活に思いを馳せているようでした。



定例会で決まった議案

議案番号等	議 案 等	審議結果
議案第1号	令和7年度 普代村一般会計予算 当初予算 56億5300万円	可 決 (全員賛成)
議案第2号	令和7年度 普代村国民健康保険特別会計予算	
議案第3号	令和7年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計予算	
議案第4号	令和7年度 普代村休養施設事業特別会計予算	
議案第5号	令和7年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計予算	
議案第6号	令和7年度 普代村魚市場事業特別会計予算	
議案第7号	令和7年度 普代村簡易水道事業会計予算	
議案第8号	令和7年度 普代村下水道事業会計予算	
議案第9号	令和6年度 普代村下水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分に関し承認を求め ること 補正額 13万3千円を委託料から給料へ変更するもの。	承 認 (全員賛成)
議案第10号	令和6年度 普代村一般会計補正予算(第9号) 補正額 1836万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を49億7286万9千円とするもの。	可 決 (全員賛成)
議案第11号	令和6年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 補正額 1034万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を4億1067万8千円とするもの。	
議案第12号	令和6年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第2号) 補正額 189万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億8724万9千円とするもの。	
議案第13号	令和6年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算(第3号) 財源補正額 2840万円、歳入歳出予算の総額1億3563万7千円に変更はない。	
議案第14号	令和6年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号) 補正額 124万7千円を増額し、歳入歳出予算の総額を3774万円とするもの。	
議案第15号	令和6年度 普代村簡易水道事業会計補正予算(第2号) 収入補正額 56万1千円、支出補正額 33万7千円をそれぞれ減額し、収入総額1億3774万7千円、支出総額1億3959万3千円とするもの。	
議案第16号	令和6年度 普代村下水道事業会計補正予算(第2号) 収入補正額 57万9千円、支出補正額 83万円をそれぞれ減額し、収入総額9145万9千円、支出総額9304万3千円とするもの。	
議案第17号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部を改正する条例 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正するもの。 刑法等の一部を改正する法律の施行の日から施行。	
議案第18号	普代村地域包括支援センターの職員等の基準を定める条例の一部を改正する条例 介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い、所要の整備をするもの。公布の日から施行。	
議案第19号	普代村立普代社会体育館及び普代村自然休養村管理センターに係る指定管理者の指定 施設の管理者を「社会福祉法人普代村社会福祉協議会」に指定。 指定期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間。	
議案第20号	普代村観光センター及び普代浜園地キラウミRVパークに係る指定管理者の指定 施設の管理者を「株式会社青の国ふだい」に指定。 指定期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間。	
議案第21号	地方卸売市場普代村魚市場に係る指定管理者の指定 施設の管理者を「普代村漁業協同組合」に指定。 指定期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間。	
議案第22号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 辺地に係る公共施設の総合整備のために、堀内辺地の整備計画を変更するもの。	

令和7年度当初予算
総額 66億2920万円

3月定例会

令和6年度補正予算、実績及び実績見込みにより一般会計と5特別会計あわせて
2885万1千円を減額

一般会計補正予算

▽ふるさと定住促進助成金、結婚新生活支援事業補助金、普代村移住支援金
合計339万円減額

質問 なぜこんなにも減額になったのか。村からの働きかけなどはなかったのか。

回答 ふるさと定住促進助成金は助成額の大きい方が転居して対象外となったこ

とが大きな要因。結婚新生活支援事業補助金及び普代村移住支援金は対象者の把握に努めているが、補助要件に合致した対象者がいなかった。今後は制度の周知方法をもっと検討したい。
△北緯40度運動公園野球場改修工事 304万円増額

質問 どれくらいの規模なのか。今後も計画的に整備していく予定なのか。

回答 今回は必要最小限の整備。大規模な整備も必要ではあるが、金額が大きく変わってくるので今後の検討とさせていただきます。
▽地域おこし協力隊受入事業 2770万円減額

質問 新規隊員と退職隊員の差による減額だと思いがその内容と、現在の協力隊員の氏名を教えてもらいたい。また中途退職の理由は。

回答 現隊員8名(久保阿部、ダグラス、萱場、谷口、中村、伊藤、小松)、新規隊員4名(松本、勝、石川、藤原、離職隊員5名(久保、

阿部、谷口、ダグラス、石川)となる。中途離職の理由は様々あるが、一番は理想と現実のギャップだと思う。今後はそのギャップを埋めるよう、声かけ等しっかりしていきたい。
△休養施設事業会計繰出金 2840万円増額

質問 この繰出金は赤字補填の内容だと思いが、令和6年度のみか、累計分か。

回答 今回の補正は令和6年度分のみ。合計額は3400万円(人件費、工事費等含む)
▽緊急通報体制整備事業委

条例

▲刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改正

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正をするもの。(従来の懲役刑と禁錮刑を一本化し、拘禁刑とするもの)

▲普代村地域包括支援センターの職員等の基準を定める条例の一部改正

介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い、所要の整備をするもの。

託料

22万円減額

質問 減額の理由は。また事業の内容は。

回答 固定電話を利用して緊急時に通報できる事業。現在は携帯電話でも利用可能だが、携帯電話ではなかなか利用者が伸びない現状もあつての減額である。

次のページから

「一般質問」

村の課題を熱く議論！

3月定例会の一般質問には、4人が登壇し、村の課題などに村当局の考えを問いました。
村議会では「一問一答方式」で行っていますので、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。

質問者と内容



おおかみ 8分
大上 議員

- ①「普代学園」建設について
- ②村立学校の学校経営について
- ③普代浜園地キラウミについて



さいとう 9分
齊藤 正明 議員

- ①次期総合発展計画策定に向けての取り組みについて
- ②高齢者の安全運転を支える支援について



なかがみ 10分
中上 一登 議員

- ①高齢者のケアについて



かねこ 11分
金子 泰男 議員

- ①藻場再生と漁場の再生、天然畜養施設の取り組み状況の成果と今後の取り組みについて
- ②旧和村邸の利活用に向けた今後の方針は

7月の工事着工に
変更はないか

変更なく進めている状況

―― 榎屋村長

義務教育学校

質問 本年7月の工事着工に変更はないものか。**答弁** 榎屋村長 現時点において、変更なく進めている状況であるが、最近の労務費や資材価格の急激な高騰等により、再入札となった場合、契約時期が、2か月程度後ろ倒しになる懸念もある。**質問** 総事業費（備品等除き）33億円余りの、村の負担割合及び償還計画は。**答弁** 道下教育次長 国の補助対象事業費は、概ね30%くらいで約11億円となり、残り約22億円については村の負担であり、過疎債起債による30年償還となり、利子含めて年約1億円の償還計画となるが、過疎債に対する国の交付税措置70%を差し引くと、実質年3千万円程度の村負担になるものと考えている。

いる。

質問 普代小学校、普代中学校の閉校式についての計画は。**答弁** 榎屋村長 閉校式については、開校準備委員会の所掌となっており、まだ具体的協議等は行われていない。

教育現場の現状

質問 村の教育現場においては、現状として教職員数の不足は生じていないのか。**答弁** 三船教育長 本年度途中から病気休職、育児休業、病休からの退職等あり、県教育委員会に対し、再三の補充・欠員となっている教科担任の配属を願ったが、全国的な教員不足のため未充足の状況が続く、現状の教職員の負担増による学校経営を強いられた。
質問 毎年実施されている、全国学力テスト（小6、中3対象）の結果を踏まえた、学力向上

への取り組みは。

答弁 三船教育長 結果として、小中いずれも県平均を下回る結果となり、基礎・基本の確実な定着が求められる状況であった。小中合同での結果分析を行い、個々の学習状況を的確に把握し、小中共通の手立てを組んで、児童・生徒個人に応じた丁寧な指導を重視することについても確認しながら取り組んでいる。

普代浜園地キラウミ

質問 大型インクルーシブ遊具等設置完了した「普代浜園地キラウミ」に、遊びの専門家等を招聘しての園地活用策等を考えるべきでは。**答弁** 榎屋村長 今年度は、園地利用状況等を検証し、村の活性化に資するイベント開催さらなる整備の検討等、公園全体の有益活用について、計画的な取り組みを検討したい。

普代浜園地キラウミの遊具

次期総合発展計画の
策定は

将来像の実現に向けて取り組む

―― 榎屋村長

齊藤正明

総合発展計画の策定は

質問 村の最上位計画に位置づけられている総合発展計画であるが、今後においても先行き不透明な社会情勢の中で本村を取り巻く環境をしっかりと認識し、各種施策に取り組んで行く必要があると考える。**答弁** 榎屋村長 そこで、第5次総合発展計画の検証と、その成果をどう捉えているのか。**答弁** 榎屋村長 少子高齢化の急速な発展に加え、感染症、エネルギー価格の高騰や諸物価の高騰、さらには気候変動による海洋環境の変化に伴う漁業への影響など、村民の皆さんの生業や暮らし、村内経済が厳しさを増している状況にあること、庁内の各委員そして外部の委員皆さま共々に共有しているところである。

人口減少対策本部や総合発展計画審議会による最終

的な検証作業を実施して、その課題などを踏まえ、次期総合発展計画策定へとつなげる。

質問 次期計画の策定方法及び村民ニーズの把握・反映の手法は。**答弁** 榎屋村長 現在、第6次総合発展計画策定支援業務は公募型プロポーザルにより、策定支援事業者の選定作業を行っている。策定の流れは、村民の皆さまや各種産業団体から協力いただきながら、アンケートや意見交換会による意向調査を実施し、人口減少に伴う将来的な影響などを改めて共有しながら、より多くの意見を吸い上げ、それぞれが抱える課題やニーズの把握に努める。

特に、村民の各世代、そして各産業界、産業分野におけるニーズの把握が非常に重要であると考えている。

質問 総合発展計画と総合戦略の関連性

は。

答弁 榎屋村長 現行の総合発展計画と総合戦略においては、個々の個別計画としながらも、その関連性を示しつつ整合性を図っている。総合戦略の国土強靱化地域計画も一体化させた、その計画の中身や内容については、「人口減少対策」や「防災・減災対策」などのことも踏まえ、「村民の暮らしの充実」をより強く念頭に入れながら、地方創生への取り組みを緩めることなく、10年、20年後も見据えつつ、持続可能な暮らしの充実の指針ともなるような計画をつくりたいと考えている。

高齢者の安全運転を支える支援を

質問 交通事故防止や事故発生時の被害軽減を目的として、安全運転支援装置設置促進事業や設置補助金など、費用の一部を補助するような事業の

取り組みが必要と考えるが。

答弁 榎屋村長 自動ブレーキの搭載については、令和3年11月以降にフルモデルチェンジした新型車にはすでに義務化されている。車の買い替えが進み、自動ブレーキ及びペダル踏み間違い時加速抑制装置を標準装備した「安全運転サポート車」が広く普及してきている現状を踏まえると、村でも新たな補助制度を創設しても効果は限定的なものと考えている。

認知症サポート体制の充実を

他部門の連携、他職種の協働を進める
―― 榎屋村長

地域包括ケアシステムの現状は

質問 地域包括ケアシステムにより「医療と介護の連携」が進むとされている。「在宅で介護サービスだけでなく医療サービスも必要とされている方に切れ目なく提供できる」となっているが現状は。

答弁 榎屋村長 在宅医療・介護連携の推進については、保健部門・福祉部門・医療部門等、関係機関の連携、他職種の協働をできる限り進めている状況。

心として在宅サービス、施設・居住系サービスを提供している。

医療は、内科・歯科診療所が、かかりつけ医となり、地域住民の健康相談や高齢者の健康を支えている。

在宅医療サービスの現状は、内科・歯科診療所のみで、100%24時間対応はできていない。通院が困難な方には「訪問診療」や「訪問歯科衛生指導」などを実施している。



サロン活動の様子

認知症患者が増えている現状

質問 村のアンケートでは、認知症の相談窓口を「知らない」と回答した方が6割となっている。第3期普代村高齢者福祉計画では、令和6年から令和8年まで認知症サポートの養成者数を各年30人との目標になっているが、昨年の目標達成状況と活動状況は。

答弁 榎屋村長 令和6年度の認知症サポーターの養成数実績は26名で計画を下回ったが、令和4年度は33名、令和5年度は63名であった。すそ野を拡大するために養成講座を小中学生にも受講していただいている。

また、受講された方々で認知症カフェや各地区でのサロンが開催されている。



認知症カフェの様子

藻場再生の可能性は

情報収集しつつ取り組んでいく
―― 榎屋村長

金子泰男

藻場と漁場の再生は

質問 普代村においても「青の国ふだい天然畜養施設」という名の

もとに、天然の畜養施設建設の可能性や様々な調査検証等の取り組みをしてきたと思うが、村として今までの取り組み成果をどのように評価しているのか。また、成果を踏まえて今後の藻場再生、漁場の再生、天然畜養施設の取り組みをどう進めていくのか。

答弁 榎屋村長

本村内での取り組みとして、港内における藻場再生とアワビ・ウニの天然畜養の可能性を調査してきたが、昆布などの大型海藻類の付着は確認できなかった。手法を変えて「小型貝殻ブロック」を設置するなどしたが、結果として現状では港内における藻場再生は難しく、天然畜養も難しいものと判断されたが、今後は県内外の取り組み成果を情報収集しつつ、

旧和村邸の利活用は

質問 旧和村邸の寄付を受けてから3年9ヶ月経過するが、利活用

にいたっていない状況である。時間が経過することにより、建物の老朽化は進んでおり、早い利活用を望んでいるが、今後の方針は。

答弁 榎屋村長

旧和村邸の利活用については、飲食店経営の仕事モデルで人材の誘致に取り組んだが、結果として成功には至っていない。しかし、令和6年度の留村プログラム参加者の方から、旧和村邸を地域内外の生涯教育活動用コミュニケーションスペースや、外国人向けの滞在施設として活用する事業プランの相談があった。今後は相談者とさらに協議を進めて、早期に利活用できるように取り組む。



早い利活用が望まれる旧和村邸

どうするか…



臨時会

2月6日に令和7年第1回臨時会を、3月27日に第3回臨時会を開会し、条例改正や補正予算などを審議し、すべて可決しました。令和6年度一般会計の総額は49億7840万円となりました。

2/6 第1回臨時会

審議した案件は、令和6年度普代村一般会計補正予算など3議案を全員賛成で原案可決し、令和6年度普代村一般会計補正予算（第7号）の専決処分1件の承認をしました。

◇令和6年度普代村一般会計補正予算（第7号）の専決処分に関し承認を求めること

補正額3,882万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を49億335万1千円とするもの。物価高騰対策地域商品券給付事業2,368万4千円の皆増（村民1人当たり10,000円分）、低所得者支援給付金1,241万9千円の皆増。そのほか、岩手県人事委員会勧告に合わせた給与の遡及適用に伴う不足分の増額が主なもの。

◇令和6年度普代村一般会計補正予算（第8号）

補正額8,788万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を49億9,123万8千円とするもの。普通交付税の増額、ふるさと応援寄付金の増額が主なもの。

◇普代村総合発展計画審議会条例の一部を改正する条例

総合戦略を総合計画と一体化し政策の整合性を図り、双方の取組みを効率的かつ効果的に進めるため、普代村総合発展計画審議会条例の一部を改正するもの。

◇普代村特別会計条例の一部を改正する条例

令和7年4月1日から運用が開始される地方卸売市場普代村魚市場の特別会計を設置するため、所要の改正をするもの。

3/27 第3回臨時会

審議した案件は、令和6年度普代村一般会計補正予算など4議案を全員賛成で原案可決し、村道路線1件の認定をしました。

◇令和6年度普代村一般会計補正予算（第10号）

補正額552万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を49億7,839万7千円とするもの。強い水産業づくり交付金の増額を含め、地方交付税及び国県支出金の確定による調整のほか、ふるさと応援基金の繰入金の確定による財源補正が主なもの。

◇令和7年度普代村一般会計補正予算（第1号）

補正額944万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を56億4,355万9千円とするもの。強い水産業づくり交付金を国の要望により、令和6年度予算で前倒しして実施することから、947万9千円の皆減が主なもの。

◇職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正をするもの。

◇普代村特別職並びに一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

国内外の経済社会情勢の変化に対応するため、普代村特別職並びに一般職の職員の旅費に関する条例について、所要の改正をするもの。令和7年4月1日から施行。

◇村道路線の認定

3180号（村道普代駅前8号線）羅賀地区住宅等へ接続する村道として認定。

3181号（村道沢山5号線）普代村定住促進団地へ接続する村道として認定。

村民の皆さんにお知らせしたい
杵屋村長の施政方針

総合戦略の推進

村の人口が減少していることにより、社会・経済活動の担い手不足、村の活力や魅力の低下が一層にも懸念されます。この減少を抑制するための取組みを強化するよう、諸事業の積極的な推進に努めます。

移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業では、仕事モデルの創出、移住者の誘致と伴走支援に取り組みます。

関係人口拡大のための移住コーディネーターの配置や、村の情報のテレビ放送により魅力発信を強化しつつ、地域おこし協力隊員等と連携しながら移住・定住の促進に取り組みます。

また、産業・経済の好循環づくりにも寄与するふるさと納税事業の積極的な推進にも取り組みます。

活力ある産業を育てる

水産業において新規漁業就業者確保事業や水産業活性化事業などを行いつつ、漁港施設では、県事業で太田名部漁港・導流堤、堀内漁港・北防波堤などの取組みを進めます。新魚市場での強い水産業づくり交付金事業、堀内漁村センターの照明LED化も進めてまいります。

農業は、ほうれんそう価格安定拠出金を継続しつつ、地域農業計画実践支援事業、園芸作物収量向上等支援事業、未来農業実証事業に取り組みます。

商工業は、プレミアム付き商品券の発行事業や青の国ふだいブランド商品の販売促進を支援します。また、商工業者の運転資金等確保預託と商工会の経営指導支援を継続します。

安心して暮らせる環境

検診受診率向上対策、検診受診一部負担助成、健康ポイント事業などを行い、健康増進意識の向上と生活習慣病の予防による健康長寿の増進に努めてまいります。また、インフルエンザ、新型コロナウイルス、带状疱疹の予防接種の補助等も継続してまいります。

高齢者保健福祉は、新たに通いの場等での健康障害リスク因子の低減に資する取り組みを行いつつ、地域包括支援センター事業の充実を図りながら、生活支援ハウスや小規模多機能ホームなどへの運営助成、看護・介護職養成の奨学金貸与、加齢性難聴補聴器購入助成などを行います。

また新規事業として、社会福祉法人普代福祉会への介護人材確保助成、骨伝導集音器の窓口設置などにも取り組みます。

安全で快適な環境

脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、公共施設のLED化や住宅等での太陽光発電システム等導入事業に努めます。

住宅は、公営住宅長寿命化計画の策定を行うとともに、民間住宅での一般リフォームと浄化槽設置加算リフォームの拡充助成をするほか、新たに熱中症防止のための民間住宅エアコン設置支援と公共施設の空調設備改修も行います。

道路は、（仮称）普代駅前8号線の新設、沢山線と黒崎3号線の改良などを行います。また、茂市北ノ股線などの改良に係る設計・測量や滝ノ沢橋など橋梁の補修の点検・設計も進めてまいります。

総務常任委員会調査報告

1 調査の期日及び内容

令和7年3月19日（水）
①普代中学校視察
②普代小学校視察

2 視察者

委員長：森田 幸一／副委員長：金子 泰男／委員：松葉 明人、大上 智

3 調査の概要

各学校の学校運営の状況、教育課程の実施状況、支援が必要な児童生徒等について、調査を行いました。今回の調査で小・中学校とも、村で配置している支援員・地域コーディネーターが児童生徒の学習活動に重要な役割を果たしていることがわかりました。また、GIGAスクール構想で整備された1人1台端末については、小学校1年生から授業はもちろんのこと様々な学習活動に活用されていました。

①普代中学校

- ◇生徒数 42人（1年生12人、2年生12人、3年生18人）
- ◇教職員
校長、副校長、教諭6人、養護教諭1人、主事1人、栄養教諭1人、講師2人、支援員3人、用務員1人、地域コーディネーター1人（小・中学校兼務）、ALT1人
- ◇特色ある教育
 - ・自発的自治的な活動（自ら考え、自ら行動する。）
 - ・地域を広く発信する活動（青の国からふだいラジオ、岩手日報、だ・ナス等で情報発信を行った。）
 - ・中野流鶉七頭舞の活動

②普代小学校

- ◇児童数 74人（1年生13人、2年生12人、3年生5人、4年生14人、5年生17人、6年生13人）
- ◇教職員
校長、副校長、教諭7人、講師2人、養護教諭1人、主任主査1人、支援員6人、用務員1人、地域コーディネーター1人（小・中学校兼務）
- ◇特色ある教育
 - ・チョウセンアカシジミの学習（3年生）
 - ・普代水門、太田名部防潮堤等の防災に関する学習（4年生）
 - ・海づくり少年団のワカメの芯抜き体験、新巻き鮭作り（5年生）



普代中学校視察の様子



普代小学校視察の様子

主な議会の動き

（12月定例会～3月定例会 諸報告より抜粋）

月 日	場 所	事 項	出 席 者
12月10日	役 場	村議会令和6年第8回定例会	各議員
	役 場	議会運営委員会	各委員、正副議長
13日	役 場	中村裕氏叙勲伝達式	正路議長
24日	役 場	議員全員協議会	各議員
	役 場	議会広報常任委員会	各委員
25日	太田名部漁港	地方卸売市場普代村魚市場竣工式	各議員
1月4日	太田名部漁港	令和7年普代村漁業協同組合魚市場初売り式	正路議長、古沼副議長
5日	自然休養村管理センター	令和7年普代村二十歳のつどい	正副議長、金子、松葉、齊藤、中上、嵯峨、森田、大上智議員
	くろさき荘	令和7年普代村新年交賀会	正副議長、金子、松葉、齊藤、中上、森田、大上智議員
12日	普代村内	令和7年普代村消防出初式	正副議長、松葉、齊藤、嵯峨、森田、大上智議員
16日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
23日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
25日	くろさき荘	中村裕氏旭日双光章受章祝賀会	正副議長、金子、松葉、齊藤、中上、森田、大上智議員
28日	久慈市	久慈広域連合議会議員全員協議会	中上、森田議員
2月5日	洋野町	久慈地区市町村議会連絡協議会研修会及び交流会	正副議長、金子、松葉、齊藤、中上、森田、大上智議員
6日	役 場	議会運営委員会	金子、松葉、齊藤、中上、嵯峨、森田、大上智委員、正副議長
	役 場	村議会令和7年第1回臨時会	正副議長、金子、松葉、齊藤、中上、嵯峨、森田、大上智議員
	役 場	議員全員協議会	正副議長、金子、松葉、齊藤、中上、嵯峨、森田、大上智議員
	役 場	総務常任委員会	各委員
7日	大槌町	東部町村議会議長会議員研修会及び議員交流会	正副議長、松葉、森田、大上智議員
13日	盛岡市	東部町村議会議長会宮古・釜石地区選出岩手県議会議員との懇談会	正路議長、古沼副議長
14日	盛岡市	東部町村議会議長会臨時総会	正路議長、古沼副議長
	盛岡市	岩手県町村議会議長会定期総会及び政務調査会	正路議長
17日	久慈市	久慈広域連合議会定例会	中上・森田議員
21日	盛岡市	岩手県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会	齊藤議員
26日	役 場	議会運営委員会	金子、松葉、齊藤、中上、嵯峨、森田、大上智委員、正副議長
	役 場	総務常任委員会	各委員
3月3日	中央区・太田名部	3月3日津波記念日における慰霊祭	正路議長、古沼副議長

V O I C E 未来予想図 Fudai

より健康な村づくりを！

せきはた るか
関畑 瑠夏さん (27)

4月から普代村保健センターに勤務しています。今年で、保健師として6年目になります。まだ普代村について知らないことが多いので、これから普代村の良さをたくさん見つけていきたいです。

仕事の主な担当は、特定検診やがん検診です。普代村は岩手県や全国と比べて、健康でいる期間が短くなってきているようです。自分らしく、いきいきとした生活を送るためには、健康であることが大切であると考えています。

村民の皆さんの健康づくりを支えていけるよう、頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。😊

一生懸命頑張ります！

やまね まゆ
山根 万侑さん (20)

4月から普代村立はまゆりこども園で保育士として働き始めました。宮古市出身で、毎日宮古から通勤しています。

就職するにあたり他の自治体からも合格をいただいていたのですが、自然が豊かで心が落ち着く普代村の雰囲気や、役場・地域の方々の温かさには惹かれ、普代村で働くことを決めました。子どもたちの健やかな成長を、村全体で見守っていけるよう心掛けています。

短大から始めたピアノは実力不足を感じつつも、自宅で練習を続けています。不安もありますが、子どもたちから元気をもらいながら、精一杯頑張りたいと思います。😊

広報委員からの返信



松葉明人広報委員

普代村へようこそ！！

普代村は県や全国に比べて「健康寿命」が短いですが？検診の受診率が低いことも影響しているのでしょうか。元気に長生きできるよう「健康づくり」期待しています。

関畑さんに教えていただきました。65歳の私（男性）の一日の運動量は？→男女ともに6000歩とのことでした。



齊藤正明広報副委員長

山根さん、数ある市町村の中から普代村を選んでいただけて感謝しています。

「子どもは地域の宝」で子ども達は普代村の未来です。はまゆりこども園の保育士として、子ども達の笑顔と普代村の未来のために一緒に頑張りたいです。

今後のご活躍を期待しています。

議長 正路 正敏
副議長 大上 智
委員 松葉 明人
副委員 古沼 和也

議会広報常任委員会

発行責任者

四月十三日から大阪・関西万博が開催中です。未来の世界が想像できたり、SDGsの観点から、ぜひ行きたいので、どなたか私を連れて行ってくれたい人を探しています。村でもツアーなどを組んでくれればありがたいです。（古沼和也）

新年度となり、小生の家族においても小学校・中学校・高校と、孫たちが新入生となりました。皆様のご家庭と同様、どうか新生活に早く馴染み、元気に、毎日通学してくれることを願うばかりでございます。がんばれ！！新入生・新社会人！！（大上 智）

あとかき



今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

